

連携スタンプラリー

日光街道 埼玉六宿



日光街道埼玉六宿連携スタンプラリー開催中!!

11月30日(木)まで日光街道の埼玉県内六宿を巡るスタンプラリーを開催しています。

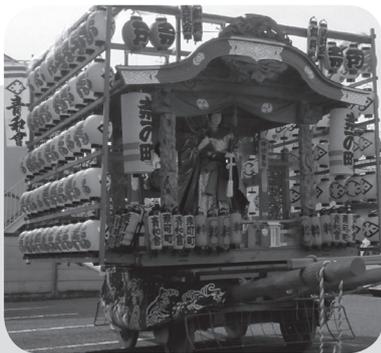
各宿場のイベントやまちあるきを楽しみながら、スタンプを4つ(四宿)以上集めると抽選で豪華景品を手に入れることができます。応募用紙は、市内公共施設や幸手駅で配布していますので、多くの方の参加をお待ちしています。

※幸手宿のスタンプは、勤労福祉会館に設置しています。



夏の交通事故防止運動を実施しました

7月19日(水)幸手駅前で、幸手警察署、幸手地方交通安全協会、幸手市交通指導員会、幸手地区地域交通安全活動推進協議会委員の協力のもと、交通事故防止を通行しているみなさんに呼びかけました。



平成29年度コミュニティ助成事業

「一般財団法人 自治総合センター」が実施している「平成29年度宝くじの助成金」を受け、仲町町内会では山車の彫刻の新調を行い、7月に行われた幸手八坂の夏祭りで、その勇壮な姿を披露しました。



若草俳句会

「夏の川・時鳥」

夏川の

濁流のごと愚痴こぼす

木下かつる・五霞町

ハクレンの

跳ねるを待つや夏の川

知久和子・五霞町

少年の

白き歯眩し夏の川

窪田幸代・香日向四

ダム放流

たばしる竜や夏の川

小林筑山・東五

耕田の

人馬冷せし夏の川

山下徳義・練馬区

忍び音を

聞いた聞かぬやほととぎす

田村千秋・さいたま市

ほととぎす

鳴き継ぐ里に母ふたり

古谷まさ枝・上高野一



SCHOOL
スクール



REPORT
レポート

あいさつと歌声が響き合い 互いに鍛え合う学校をめざして

幸手小学校

本校は、明治5年2月1日に「幸手学校」として開校し、今年創立145周年を迎えた地域に根ざしたよき歴史と伝統のある学校です。

現在、275名の素直で快活な児童と、児童の教育に真摯に取り組む26名の教職員、そして、幸手小を応援してくださる保護者や地域の方々に支えられて、教育活動を展開しています。

本校の「誇り」として挙げられるひとつに校歌があります。「高き筑波嶺 … さとの名におう 幸もあふるゝ我等が行くて…」と歌われる下中弥三郎氏(日本初の百科事典の出版で知られる平凡社の創設者)の作詞による本校の校歌は、大正5年9月27日に制定されました。昨年9月には、100年の節目を迎え、100年歌い継がれてきた校歌は、本校の誇りです。



昨年度から音楽朝会を公開して、子どもたちの歌声を保護者・地域の方々に聴いていただいています。

これからも校歌を誇りにして、歌声が響き合う学校づくりを進めてまいります。



防災サバイバルキャンプ(吉田小学校)

7月29日(土)・30日(日)吉田小学校で、学校運営支援協議会、PTA、地域のみなさんの協力のもと、防災サバイバルキャンプが開催されました。

災害時に備えるための救命救急法体験では、参加した児童たちが幸手消防署員から心肺蘇生法やAEDの使用法を学びました。慣れない動作に戸惑いながらも一生懸命取り組んでいました。



第30回埼玉反核・平和の火リレー

7月27日(木)の三芳町をスタートした埼玉反核・平和の火リレー参加者のみなさんが、8月2日(水)に幸手市役所を訪れました。

広島平和公園に灯る「平和の火」のバトンを手に、県内約350kmを延べ6日間走りつなぎ、平和の尊さを訴えました。

燎原短歌会

燎原短歌会
どうだん
満天星の

紅たちて秋深む

季の早きが

身に沁みるなり

澤田俊子・緑台一

線路沿い

大いなる宅地造成中

一望千里

騒音走る

川嶋忠雄・杉戸町

うつし世に

百万石をしのぶ庭

琴柱灯笼

水陰の澄む

野口と志子・東五

急停止

動かぬ子だぬき吾を見つ

足ひきずりて

繁みに消えぬ

齊藤陽子・白岡市

雨あがり

古利根行けば草むらに

さじの親子の

喚起のおたけび

島村三郎・宮代町

何時のまに

親族からは大祖母と

呼ばれる様な

歳になりおり

小野原綾子・緑台一